

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 関ヶ原古戦場イベント・PR等推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光国際部 観光資源活用課
関ヶ原古戦場活用推進室 活用推進係

電話番号：058-272-1111(内3935)

E-mail：c11337@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 298,368 千円 (前年度予算額： 349,061 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金負担金	使用料手数料	財産収入	寄附金	その他	県債	一般財源
前年度	349,061	110,037	0	0	0	0	0	0	239,024
要求額	298,368	87,833	0	0	0	0	0	0	210,535
決定額	298,368	87,833	0	0	0	0	0	0	210,535

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

関ヶ原古戦場のブランド力を高め、岐阜関ヶ原古戦場記念館を戦国武将観光の中核としていくため、イベントの実施やプロモーションの展開などの取組みを進め、関ヶ原古戦場を観光地として磨きあげていく。

(2) 事業内容

- ・大関ヶ原祭2024オープニング 関ヶ原ナイト
- ・大関ヶ原祭2024 メインイベント
- ・年間を通じたイベント開催(関ヶ原研究会)
- ・海外古戦場連携事業
- ・関ヶ原写真コンテスト
- ・古戦場誘客プロモーション
- ・戦国周遊コース造成事業
- ・県産品を活用した記念館オリジナルグッズ・オリジナルメニュー開発

(3) 県負担・補助率の考え方

令和2年10月に開館した岐阜関ヶ原古戦場記念館を核とした広域周遊観光を推進するため、県負担が妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	2,231	プロポーザル審査会等
旅費	6,970	業務旅費、費用弁償等
需用費	11,486	
役務費	790	
委託料	274,952	イベント・プロモーション、グッズ等開発
使用料	1,789	会議室等
備品購入費	150	
合計	298,368	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

清流の国ぎふ」創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2) 次世代を見据えた産業の進行

(2) 事業主体及びその妥当性

当事業については、関ヶ原町にとどまらず、「関ヶ原の戦い」に関係性を有する近隣市町や他県との連携を図りながら実施する必要があり、広域性や高度な交渉力が求められることから、県が事業主体として実施することが妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・古戦場の整備を通じ、関ヶ原古戦場の更なる魅力を創出し、観光客数の増加を図るとともに、関ヶ原古戦場を核とした周辺地域の周遊観光を振興する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①観光消費額		2,702億円	2,900億円	3,100億円	3,600億円	75.1%
②観光入込客数 (実数)		4,263万人	4,750万人	4,800万人	5,300万人	80.4%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	令和2年10月に開館した岐阜関ヶ原古戦場記念館のオープニングイベントの開催や、記念館広域観光情報コーナーにおいて県内市町の観光PRを行い情報発信するなど、記念館が広域周遊観光の拠点としての役割を果たし、観光入込客数の増加に貢献した。
令和3年度	岐阜関ヶ原古戦場記念館は、コロナ禍の制限がある中においても、年間を通じた様々な企画展、講演会を開催するなどし、令和2年度は約5万人、令和3年度は約9.1万人が来館した。記念館が広域周遊観光の拠点としての役割を果たし、観光入込客数の増加に貢献をした。 指標① 目標：1,900億円 実績：1,721億円 達成率：90.6%
令和4年度	コロナ前に恒例で開催していた秋の武将イベントを、岐阜関ヶ原古戦場記念館を核とした形で再開するとともに、記念館における年間を通じた特別企画展を開催するなどし、令和4年度は記念館へは約14万人が来館、古戦場全体への観光入込客数は約20万人にのぼるなど、記念館を核とした関ヶ原古戦場のブランド力の強化に貢献した。 指標① 目標：2,400億円 実績：2,702億円 達成率：112.6%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	全国的に知名度の高い関ヶ原古戦場を活用した戦国武将観光を推進するため、さらにブランド力を高め、国内外に魅力発信を継続して行う必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	著名人・学識経験者等を招いて行った講演会やトークショーでは、期待した規模のPR効果が得られた。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	岐阜関ヶ原古戦場記念館や関係市町と連携して事業を行うことで効率化を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 事業の推進にあたっては、関係機関・市町などと連携を図り県全体で実施していくことが必要である。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 関ヶ原古戦場のブランド力、魅力を国内外に発信し誘客を推進していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】